

第3回 JA西三河「いちごスクール」修了式・開校式 JA・行政・生産者が連携して新規イチゴ農家を育成 長期にわたる産地振興を見据える

JA西三河・JAあいち経済連・西尾市・愛知県とJA西三河いちご部会などで組織するJA西三河いちご産地振興委員会は5/28、施設栽培イチゴの就農支援プロジェクト「いちごスクール」の修了式・開校式を開催します。

この5月で研修を終える第2期生は3人。JA西三河いちご部会に仲間入りをはたし、今年11月からの出荷を目指し、各自準備を進めています。

また、新たに3期生4人がイチゴ農家を目指し研修をスタートします。

「いちごスクール」は、施設いちご栽培での就農を目指す方を対象とする就農支援プロジェクトです。栽培技術などを生産者が直接指導する実務研修から、経営研修・農地取得・補助金申請などをセットに、新規就農・1ターン就農者を専業農家まで育成します。研修期間は1年間。

2021年6月より西尾市内のいちご農家ほ場での研修を開始。並行して県の就農支援制度の申請や栽培施設の建設などを行い、2022年11月からの本格出荷を目指します。

修了式・開校式 日程

【日時】5月28日（金）午前10時～

【集合】JA西三河めぐりセンター小牧 2階会議室
（西尾市吉良町小牧梶見堂35番地）

西尾市は愛知県の中央南端に位置し、人口約17万人の西三河地域の中核をなす都市で、多種多様な農作物が生産されています。年間通じて温暖で冬場でも日射量が多いことから、いちご栽培に適しており、いちごの生産量は県内トップを誇っています。

西尾市でのイチゴ栽培の魅力

- 安定して売れる
子供からお年寄りまで幅広い年齢層に人気。安定した販売が見込めます。
- 出荷期間が長い
栽培イチゴの出荷は11月から翌年の5月まで。他の作物と比べて収穫が長く、長期にわたり収入が得ることが出来ます。
- 仲間が多い
JA西三河いちご部会の部下員数は76人（2021.4現在）と県内でも屈指の人数を誇っています。部会内での情報交換や交流も盛んで、活発な活動を行っています



「いちごスクール」ポスター
チラシも農業大学校や農業フェア、JA支店、西尾市役所などで配布している



【お問い合わせ・ご連絡先】
JA西三河（西三河農業協同組合）
〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：神谷 健
TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-4251
HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関あてに発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

西尾市のイチゴ生産の概要

～県内一の大産地、長期発展へ新規就農者向けプロジェクト始動～

■西尾のイチゴ生産の特徴■

JA西三河いちご部会では76人の生産者が高設栽培（章姫）・土耕栽培（紅ほっぺ）でイチゴを生産しています。生産量946ト（加工いちご、ジャム用除く）は県内トップクラス。加温したハウスの中で11月から5月頃まで長期にわたる出荷を行っています。出荷量のピークは4月頃。

毎年冬には、需要の高いクリスマス時期に最初のピークを合わせるよう栽培を調整。この時期には業務用イチゴ（主にクリスマスケーキ用）の出荷も行い、安定した高品質が製菓業者に高く評価されています。



アグリセンター小牧選果場での出荷作業

■「虫」をもって「虫」を制す 天敵の利用で農薬使用を抑制■

同部会では農薬（殺虫剤）の利用の抑制とコスト低減・省力化のため、天敵（害虫を捕食する別の虫など）を利用した防除を行っています。イチゴの重要害虫であるハダニ対策として、ハダニを捕食するダニの「チリカブリダニ」を導入し、農薬の使用を抑えつつ高品質のイチゴ作りにつなげています。



天敵資材を設置するイチゴ農家

■新規就農支援プロジェクト「いちごスクール」 2018年度より始動■

JA西三河いちご産地振興委員会は2018年度より、西尾市で施設イチゴ栽培での就農を目指す方を対象とする新規就農支援プロジェクト「いちごスクール」の参加者募集を開始しました。

農家から直接指導を受けて栽培技術などを習得する実務指導から、経営研修・農地取得・補助金申請などをセットにイチゴ専業農家を育成します。新規施設の建築や住宅あっせんも行い、西尾市内外からの新規就農希望者の受け入れ体制を整えています。



新規栽培者募集のパンフレット

【生産者部会情報】

名称：JA西三河いちご部会

部会員数：76人 耕作面積：約15.7㌥

流通先：愛知県・石川県・新潟県

出荷量：946ト（2020年度実績 ※2019年11月～2020年6月、加工いちご、ジャム用除く）

収穫期：11月～6月（ピークは4月）